

平成28年6月7日
県民交流課統計情報室
担当：浅香、沖本、真柄
(内線 3742、3753)
(直通 225-1341or1343)

国連アジア太平洋統計研修所実地研修の実施について

1 内容

国連アジア太平洋統計研修所（SIAP）は(独)国際協力機構（JICA）と共催で開発途上国の政府統計職員に対する統計研修を実施。その一環として、地方公共団体における実地研修を、同研修所に対する協力機関である総務省の依頼により石川県で実施する。（石川県では、平成17年度以来）

2 実地研修期間 平成28年6月9日（木）～10日（金）

3 研修参加者 研修員28人

参加国 23か国（バングラデシュ（1）、カメルーン（1）、エジプト（1）、ガーナ（1）、イラン（1）、ケニア（1）、ラオス（2）、レソト（1）、マレーシア（1）、モンゴル（2）、ミャンマー（2）、ネパール（1）、フィリピン（1）、シエラレオネ（1）、ソロモン（1）、南アフリカ（1）、南スーダン（2）、スーダン（2）、スワジランド（1）、タイ（1）、東ティモール（1）、ツバル（1）、バヌアツ（1））

※ 括弧内は参加人数

4 日程

6月9日（木）	午後	県庁11階1109会議室 13:30～14:00 局長表敬訪問 14:10～16:00 県勢・統計情報室の概要説明、小売物価統計調査・システム概要説明、執務室見学等 16:30～17:30 事業所視察（伝統工芸「箔貼り」体験）
6月10日（金）	午前	10:00～11:30 小売物価統計調査実査の視察 平和堂アル・プラザ金沢（※）

※平和堂アル・プラザ金沢での取材を希望される方は事前に申し出て下さい。

【参考】国連アジア太平洋統計研修所とは

設立：国連唯一の政府職員向け統計専門研修機関として昭和45年に東京都に設置
（平成11年千葉県に移転）

目的：政府統計職員に対する研修を通じて開発途上国における質の高い統計の作成のための能力向上及び活動を支援

職員：所長、副所長、講師などの国連スタッフから構成。あわせてSIAPの事業を支援するため、協力機関である総務省政策統括官（統計基準担当）室の職員が常駐

実績：15,514人（133の国と地域）が研修を修了（H28.3.31現在）

国連アジア太平洋統計研修所実地研修局長表敬訪問等次第

日時：平成 28 年 6 月 9 日(木) 13:30～

場所：石川県庁 11 階 1109 会議室

1 局長表敬訪問（研修員及び随員 36 名）

- | | |
|---------------|-------------|
| (1) 県出席者紹介 | 13:30～13:35 |
| (2) 研修員、同行者紹介 | 13:35～13:40 |
| (3) 歓迎あいさつ | 13:40～13:45 |
| (4) 答礼あいさつ | 13:45～13:50 |
| (5) 研修員代表あいさつ | 13:50～14:00 |

石川県から記念品贈呈

記念撮影

(休憩)

2 県勢及び統計情報室の概要説明

14:10～14:50

(休憩)

3 小売物価統計調査、システムの概要説明

15:00～15:40

(休憩)

4 執務室の見学

15:50～16:00